

講義名	教養特講（経営学科へのいざない）			授業形態	
担当教員	島田 奈美 / 青木 崇 / 赤川 元昭 / 今西 珠美 / 岡田 恵美 / 岡村 俊一郎 / 楠奥 繁則 / 竹中 康之 / 平井 直樹 / 持田 信治 / 保田 洋 / 李 東浩	開講期・曜日・時間	前期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

本科目は、企業経営の大まかなプロセスになぞらえながら、商学部経営学科における専門的な学修内容についての導入的な解説を行うものである。経営学科に所属する複数の教員が、自身の担当科目や関連科目にかかわるトピックを概説する。これらによって、(1) 企業経営に関する基本概念を理解してもらうこと、(2) 経営学科での学びの全体像を把握してもらうこと、(3) 「経営戦略」「起業・事業承継」「グローバル経営」「会計」「フードビジネス」の5つのコースのなかから、興味・関心のある分野や2年次以降に学びを深めたい分野を明確化してもらうことを目指す。

到達目標

- (1) 商学部経営学科での学びの全体像を理解できるようにする。
- (2) 2年次以降の所属コース選択について具体的に考えることができるようになる。

提出課題

- (1) 授業回ごとに、小テスト課題やレポート課題を実施する。
- (2) 課題内容や提出方法、期限などについては、各授業回の担当教員の指示に従うこと。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題の提出期限後に、各授業回の担当教員が定めた形式で全体向けにフィードバックする。

評価の基準

- (1) 各授業回の担当教員が定める方法で実施する小テスト課題やレポート課題の合計得点で評価する。詳細は、別途案内する。
- (2) 欠席した場合は、その授業回の得点を得ることはできない。ただし、欠席編が提出された場合は、別途配慮する。
- (3) 定期試験は実施しない。

履修にあたっての注意・助言他

- (1) 15回すべてに出席して課題を提出したとしても、合格点に達していなければ単位は修得できない。この点を意識して、毎回の授業にきちんと取り組んでほしい。
- (2) 担当教員ごとに授業の進め方や課題の取り組み方が異なるので、注意すること。

教科書	.使用しない。				
-----	---------	--	--	--	--

参考図書	.なし。				
------	------	--	--	--	--

その他

- (1) 講義資料は、キャンパスクロスもしくはRYUKA Portalから配信するので、各自で準備すること。教室内での印刷物の配布は、原則として行わない。
- (2) 各授業回の参考図書は、適宜案内する。

授業計画

01. 経営学科の見取り図（島田）：経営学科の学びの全体像と、この授業の取り組み方について解説します。
【予習】シラバスと講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
02. 企業論（岡村）：企業と会社の違いと企業や会社の種類。そして、株式会社の特長について学びます。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
03. 経営戦略（青木）：経営戦略の意味、考え方を学び、企業を取り巻く経営環境と企業の経営資源について説明します。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
04. 経営組織（平井）：組織とは何か？意思決定やモチベーションなどの組織内の個々の動きや振る舞いについて学びます。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
05. 日本と海外のものづくり（持田）：工業と製造業と品質について、製造業の歴史にふれながら説明をします。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
06. 日本と海外のものづくり（持田）：現在の主な製造方法に付いて説明を行い、魅力的な製品の開発方法について説明を行います。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
07. 日本と海外のものづくり（持田）製造業に於けるプロジェクトマネジメントとリスクマネジメントの概要説明を行います。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
08. 経営情報（赤川）：情報技術が企業活動のどのような局面で利用され、どのように役立っているのかを学びます。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
09. 経営情報（保田）：情報を経営にいか活用していくか、ITを利用した情報システムの設立の方について説明します。
【予習】情報システムがどのようなものか調べる。情報システムにはどのようなものがあるか3点探す（120分程度） 【復習】別途案内する課題に取り組み（120分程度）
10. 起業・事業承継（岡田）：日本における起業・創業を取り巻く環境、様々な起業の形について事例を通じて説明します。
【予習】前回の復習をしっかり行う（120分程度） 【復習】シラバスから次回の内容を想像し、どのような理論が語られるか考える（120分程度）
11. 人的資源管理（楠奥）：経営資源の中でも最も重要な「ヒト」、特に企業で活躍し始める20代の若者に焦点を当て、従業員のワーク・モチベーション（仕事意欲）をどのように高め、持続させるのかを探ります
【予習】前回の復習の流れをより深める（120分程度） 【復習】イノベーションの事例と経営理論との関わりを自分なりにまとめる（120分程度）
12. 食品・栄養（竹中）：健康食品としての緑茶を題材に、科学的根拠と消費者イメージの違いを理解し、情報を正しく読み解く視点を学びます。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
13. 国際経営（今西）：企業のグローバル経営について取り上げます。国境を越え、異なる政治・経済・文化の中で活動する企業の姿を捉えます。
【予習】資料に目を通す。各キーワードについて調べ、それぞれ120字程度で説明を書く（120分程度） 【復習】学んだ事例の具体例や応用可能性を現実社会のなかで見出す（120分程度）
14. グローバル競争（李）：国の競争力をテーマに、様々な情報源より世界での日本、中国、米国の位置づけを解説し、受講生の大局観を養成します。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）
15. その他の学び/全体まとめ（島田）：企業会計の意味や役立ちについて、企業が公表する財務情報の事例分析をもとに説明します。また、経営学科での今後の学びについて整理します。
【予習】講義資料を通読し、全体像を押さえる（120分程度） 【復習】分からなかった箇所や理解を深めたい箇所について書籍などで調べる（120分程度）

上記はシラバス作成時の計画であり、担当教員の都合等により開講が入れ替わる可能性がある。その場合は、別途案内する。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」になるために求められる、企業経営に関する基礎知識を獲得することができる。加えて、それら基礎知識を活用して、企業経営の真相を理解するためのポイントを描くことができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

- (1) 授業内で、発言やオンラインツールへの書き込みを求めることがある。積極的な授業参加を期待する。
- (2) 小テスト課題やレポート課題は、オンラインツールを活用して実施する。

実務経験の有無及び活用

備考